



地域資源を活用した息の長い被災地支援を。

9月6日(木)午前3時7分ごろ、勇払郡厚真町を震源地とする地震が発生しました。今も、厚真町、安平町、むかわ町、そして札幌市などにおいても甚大な被害のなか、現在も、避難所で生活している方たちがいます。1日も早い復旧、復興に向けて、微力ながら、私にできることをこれからも続けていきます。

【9/9(日) 勇払郡安平町早来】

白石区内の通電を確認できた9日から、これまでも自然保育推進とともに活動していた「はやきたこども園」井内園長の呼びかけに応じて、すぐ安平町に入ります。

被災直後から、こどもたちの受け入れを初めた井内さん。



私も、こどもたちを迎えるボランティアとして入ったのですが、「はやきたこども園」の敷地内に、ボランティアセンターが設置されることが決定。急遽、避難所にそのお知らせを掲示する係に。

井内さんの日頃のネットワークで、森のようちえんや、自然学校などアウトドア系の活動家がたくさん現場に入っていました。その中から知人を見つけて、いっしょに活動。

ボランティアセンターが動き出しからの安平町の動きは、皆さんもご存知かと思います。常日頃の人間関係が、災害時に生きた実践例だと思えます。



NPO法人 いぶり自然学校で『北海道胆振東部地震・子ども支援募金(通称:いぶり自然学校募金)』という、こどもたちの基金が立ち上がりました。

よろしければ皆さんの志を、いぶりのこどもたちの遊び環境の保障にいただければ幸いです。

詳しくは、『北海道胆振東部地震・子ども支援募金』をご覧ください。<http://iburi-nature.com/kikin.html>



【9/14(金) 勇払郡厚真町】

安平の動きを確認して、災害時の時こそ、地域リーダーの支援が必要と、厚真町の下司町議が経営するお店の支援に入ります。下司町議は、超党派の議員勉強会「グリーンシード21」の現代表です。この会の事務局長である柏野恵庭市議会議員はじめ、全道の仲間と数日に渡って支援。

カフェスペースをオープンさせました。その場で、下司さんから厚真町のハスカップ農家山口さんをご紹介いただき、また、ご縁あって養鶏の小林農園などを少しですが応援させていただきました。

厚真町のもともとあった地域資源の復活のため、これからも息の長い支援をしていきたいと思えます。



【9/25(火) 勇払郡むかわ町穂別】

最後におじゃましたのが、むかわ町穂別。東日本大震災の支援の現場に入った時も実感しましたが、災害は地域や個人の心にあった課題を、まるであぶり出すように顕在化させるものでもあります。

むかわ町穂別に「森のがっこう」という廃校を活用した施設があります。今、そこを拠点に、安平町のボランティアセンターの立ち上げに活躍したチームが、木育をキーワードにした息の長い地域再生をスタートさせようとしています。

復旧から復興へ。そのチームの動きも見ながら、皆さんにも情報お伝えしていきますね。



◎ひろまる通信ご希望の方は

FAX番号またはご住所をお知らせ下さい。

TEL:011-860-8666

FAX:011-860-8667



フェイスブックページも更新中です!

▼広田まゆみ

<https://www.facebook.com/mayumi.hirota.94>

▼北海道議会議員 広田まゆみ政務事務所

<https://www.facebook.com/hiromarujimusyo>

Twitter やってます! @hirotamayumi